

## 令和 7 年度共創モデル実証運行事業への応募について

### 1. 令和 7 年度共創モデル実証運行事業について

#### (1) 事業概要

交通を地域の暮らしと一体として捉え、地域の多様な関係者が連携・協働した取組を通じて、地域交通の維持・活性化を図る実証事業に要する経費を国(国土交通省)が支援(補助率 2/3)するもの。

### 2. 令和 7 年度共創モデル実証運行事業への応募内容について

#### (1) 事業名

データ駆動型のモビリティ・ミックス施策による地域交通再編プロジェクト

#### (2) 事業実施体制

##### ①実施主体

甲斐市地域公共交通会議

##### ②共創パートナー

甲斐市、ラザウォーク甲斐双葉、東日本旅客鉄道株式会社、竜王みついくリニック等の診療所、甲斐ゼミナール等の市内の塾(調整中)、教育・スポーツ機関(調整中)、甲斐市商工会

##### ③運行主体

山梨交通株式会社等市内交通事業者

#### (3) 応募内容

令和 6 年度末に策定した甲斐市地域公共交通計画に基き、令和 8 年度から AI オンデマンド交通の本格運行を検討するとともに、公共交通の再編に向け、次の 5 つの実証実験を行う。

##### ① AI オンデマンド交通の実証運行

運行地域：甲斐市全域(詳細なエリアは検討中)

運行期間：令和 7 年 9 月 から 12 月まで(詳細な期間は検討中)

運行時間：7 時から 20 時まで(詳細な時間は検討中)

利用料金：有償運行(詳細な金額は検討中)

その他：詳細は運行事業者や AI オンデマンドシステム提供事業者等と協議し決定する。

②共創スポンサー導入による事業収益性の改善

事業者等のスポンサー化による新たな収益の創出を検討する。

③モビリティハブの再検討・構築

公共交通の乗継拠点となる空間(モビリティハブ)の再検討・構築を行う。

No.	施設名	整備内容
1	山梨交通敷島営業所	待合スペース整備
2	JR 竜王駅	
3	ラザウオーク甲斐双葉	

④コールセンター・キャッシュレス決済の整備

コールセンター・キャッシュレス決済の整備を行い、公共交通の事業性向上を図る。

⑤地域公共交通の再編検討

AI オンデマンド交通の実証運行により得たデータを活用し、地域住民のニーズに合った公共交通網を検討する。

(4) 事業費

補助対象経費：74,302,000 円

補助金額：51,201,564 円

(5) 事業スケジュール

月 内容	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
採択結果通知		★										
実証準備	→											
広報・PR				→								
実証実施						→						
効果分析									本実証データによるアップデート			→
実績報告									→			